



2018年2月15日

報道関係者各位

国内最大の国際海事展『Sea Japan 2018』

4月に東京ビッグサイトで開催！

約30の国と地域から世界の海事関連企業・団体580社以上が一堂に集結！

2018年4月11日（水）～13日（金）の3日間、東京ビッグサイトで国内最大の国際海事展『Sea Japan 2018』が開催されます。1994年の初開催以来隔年で開催されてきた同展は、今回で13回目を迎え、過去最大の規模での開催となります。

会場では、国内外の海事関連企業が最新の技術や研究、そしてサービスを紹介し、活発な商談が3日間を通じ繰り広げられます。

Sea Japan 2018のテーマは、「競争力」 ①環境保全 ②安全運航 ③付加価値！

今回のSea Japanでは、「競争力」を展示会のテーマに掲げ、より一層激化している国際競争を勝ち抜くための最新技術、サービスを①環境保全 ②安全運航 ③付加価値の観点から日本から国内だけではなく世界へ発信していきます。

今回の見どころ

今回Sea Japanでは、業界が直面している環境規制（大気、海洋）に対応した製品や、船舶の運航の効率化につながる製品やサービスの展示が増加しています。特に2020年から開始される船舶の硫黄酸化物（SOx）規制については、展示会の併催イベントとして開催されるセミナーでも多く取り上げられ、業界における関心度の高さがうかがえます

またAI、IoT、そしてビッグデータを活用し、船舶が経済的且つ安全な運行を行うためのサポート技術も急速に発展しており、多くのブースで新製品が発表される予定です。

Green Innovation & Digitalization JAPAN: Leading the way to the future!

「ジャパン海事クラスター」 ジャパンパビリオン

業界関係者も注目するジャパンパビリオンが今回も日本財団の特別協賛



(日本船用工業会主催) により、会場の中央に設置されます。ジャパンパビリオンは『ジャパン海事クラスター企画委員会』が企画した「テーマゾーン」と日本船用工業会会員企業が出展する「メンバーズゾーン」で構成され、展示面積は過去最大の規模となります。パビリオン内には、業界をリードする企業が国内最高峰の技術、サービス、また研究内容を発表します。

「テーマゾーン」では現在海事業界において国際的に注目を浴びている、①環境保全=グリーンイノベーションと、②IoT、AI による最先端の技術=Digitalization で海事業業を牽引している日本を代表する海運会社、造船所、大学、研究機関、官庁、業界関連団体が、最新技術やサービスを世界に向けて配信します。また、「メンバーズゾーン」では国内最高峰の船用技術、サービスを日本船用工業会の会員企業が紹介します。

注目のセミナーおよびイベント

会期初日(4月11日)に国土交通省およびSea Japan 2018 海事クラスター企画委員会主催による『東南アジア海事サミット』が開催されます。このサミットでは、東南アジア 5 かの船主協会会長が登壇し、東南アジア地域の海事業業の現状と今後の見通しについて議論します。今後大きな成長が期待されている東南アジアの船主から最新情報を得られる業界関係者には必見のイベントです。



インドネシア船主協会会長
Mr. Johnson W. Sutjipt



タイ船主協会会長
Mr. Bhuminthir Hartsoff



フィリピン外航船主協会会長
Mr. Roy R. Alampay



マレーシア船主協会会長
Mr. Abdul Hak Md Amin



シンガポール船主協会 副会長
Ms. Katie Men

また会期2日目(4月12日)には、海事プレス社による国際会議が開催されます。毎回業界のリーダーが登壇する当セミナーは来場者からの人気が非常に高く、今回も日本の造船企業のトップが集結し、パネルディスカッションが行われます。

さらに会期2日目には、「挑戦者に学ぶ」シリーズの一環として業界で活躍している女性に焦点を当てたセミナー「女性セミナー」が、今回より



タイトルを『Sea Japan Woman in Maritime』へリニューアルし、より充実したプログラムで開催されます。今回は国土交通省海事局船員政策課協力のもと、造船、船用、内航貨物、内航客船それぞれの分野で活躍する女性にご登壇いただき、自身の職場環境や女性ならではの働き方などをテーマにして公開フリートークを行います。また国土交通省海事局より、平成29年度に開催した「女性船員の活躍促進に向けた女性の視点により検討会」の要約ついて紹介します。

会期最終日の4月13日には、JAMSTEC(海洋研究開発機構) 所有の研究船「よこすか」および友人浸水調査船「しんかい 6500」が有明西ふ頭公園に着岸し、Sea Japan2018 の来場者

に向けて無料で一般公開を行います。Sea Japan 初公開となるこのイベントでは、普段目にすることがない最大潜航深度 6,500m の能力を持つ世界最高水準の大深度潜水調査船を間近に見ることができる貴重な機会です。



業界最新情報満載！ 展示会に加え、様々なセミナーやイベントを併催！

Sea Japan 2018 では、上記のセミナーやイベントに加えて、業界が直面する課題を考え、最新動向を探る様々な業界セミナーが併催されます。また、会場内に設置されたイベントステージでは、会期 3 日間を通じ「海」をテーマに活躍している方々をステージにお呼びし、講演していただきます。

詳細は Sea Japan オフィシャルホームページからご確認下さい。

<http://www.seajapan.ne.jp/>

展示製品

造船／船舶修理／船用工業製品（軸系及びプロペラ、係船・荷役機械、船用ボイラー、冷凍機・空調装置、発電器・電動機、公害防止機器・環境保護、塗料・塗装機器、安全設備・防火設備、ディーゼル機関及び推進装置、ディーゼル機関の部分品・付属品、配電盤・起動器・制御器、電気器具、熱交換機、油圧機器、油処理装置、空気機械、ポンプ、船用タービン、弁・管継手、計器類、船用燃料・潤滑油、操舵・操船装置、錨・錨鎖・ロープ、居住設備、航海計器・通信機器・電波計器、コンピューターシステム及びソフトウェア）／港湾局・港湾管理者／港湾設備・港湾サービス／シップエージェンシー／船用組織・団体／船級協会／商社／出版／他海事製品・サービス全般

開催概要

名称：Sea Japan 2018

会期：2018 年 4 月 11 日（水）～4 月 13 日（金） 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 東 5・6 ホール

特別協賛：日本財団

後援：国土交通省、一般社団法人 日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、一般社団法人 日本造船工業会、一般社団法人 日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、一般社団法人 日本海運集会所、一般社団法人 日本船用工業会、日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般社団法人 日本旅客船協会、一般社団法人 日本長距離フェリー協会

プレス登録はオフィシャル HP から！>>

<https://www.ubmjapan-group.com/sea-japan/press/>

<本件に関するお問い合わせ先>

Sea Japan 運営事務局
(UBM ジャパン株式会社内)

担当：大内

TEL：03-5296-1020

Email：info@seajapan.ne.jp